

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

基本目標 気持ちいい住環境 “暮らしたいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 実施状況			④ 担当課	⑤令和4年度以降新たに取り組んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
犬山市での子育てと女性の活躍を応援します	「応援チーム」と連携した子育てと女性の活躍応援事業		○		子ども未来課ほか	利用者支援事業(子育てコーディネート業務)や子育て応援情報サイトの管理運営を「NPO法人にこっと」へ委託し実施している。今後も利用者支援事業などの業務委託を継続するほか、女性活躍応援に繋がるきっかけとなるような、参加しやすい雰囲気の講座開催を進める。
	子育てと女性の活躍応援事業の情報発信		○		子ども未来課	子育て応援情報サイトを活用した情報発信を強化した。今後も情報を充実させるとともに、女性活躍応援の拠点であり情報発信施設であるさんにいれが、親しみやすく来所しやすい施設となるよう取り組んでいく。
	病児保育事業実施	○			子ども未来課	受託事業者と事業内容を協議したほか、国の補助制度を活用するための事前協議を実施。令和5年度は、受託事業者による病児保育実施施設整備に対し補助を行い、令和6年度以降は、病児保育事業を委託実施予定。
	多子世帯支援策の強化		○		子ども未来課ほか	令和4年度、多子・多胎子育て支援施策拡充として、以下の事業を開始。 ・幼保小中の給食費無料化(多子世帯) ・未満児の保育料無料化(多子世帯) ・コミュニティバスの無料化(多子世帯) 令和5年度、以下の事業を追加予定。 ・産後ケア事業
	産後ケア事業の開始		○		健康推進課	ショートステイ(宿泊)型については継続。令和5年度よりアウトリーチ(訪問)型を実施。令和6年度以降はデイケア(通い)型の実施に向け準備を進める。
子育て支援施設を計画的に整備します	子ども未来園施設整備		○		子ども未来課	橋爪と五郎丸の2つの子ども未来園を統合し設置する新園の基本設計を終え、実施設計に着手。また、羽黒と羽黒北の2つの子ども未来園を統合し、民設民営となる新保育園の整備運営事業者を決定。時代のニーズに併せ、床暖房の導入や段差解消といった未満児保育室の改修を進めるとともに、改定した子ども未来園整備10ヶ年計画に基づき、老朽化した園の整備・改修を進める。
あらたな商業立地を積極的にすすめます	橋爪・五郎丸地区での道の駅エリア整備		○		都市計画課	令和元年度に道の駅エリア基本計画を策定。令和2年度に市民説明会の開催及び市民アンケート、整備・運営事業者の選定に着手する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、予定していた取り組みを当面見合わせることにした。検討再開の時期や今後の進め方については、市民生活や経済状況などを十分に考慮し適切に判断することとしていたが、昨今の物価高騰などを背景に、事業の再検証を進めることとしている。市が進める他の施策を踏まえつつ、令和5年度中には方向性を示す。
	幹線道路への商業施設誘致		○		産業課	不動産事業者と意見交換を行い、情報の収集や提供を行い進出を促し、2件の店舗がオープンした。引き続き不動産事業者と意見交換を行い、情報の収集や提供を行い進出を促す。
住環境(インフラなど)を整えます	重要な幹線道路の整備(富岡荒井線など)		○		整備課	富岡荒井線の道路工事を772m施工し未供用区間を全て供用した。令和5年度は蟬屋長塚線の基本設計に着手する。
	地区計画に基づく道路整備		○		整備課	市道五郎丸50号線外の道路工事を244mを施工し、橋爪・五郎丸地区計画道路予定地を336㎡買収した。令和5年度は、市道橋爪52号線外の道路工事を約190m施工し、橋爪・五郎丸地区計画に基づく道路整備に向けて、市道橋爪72号線外において、用地買収に取り組む。
	安全で快適に生活できるよう道路・橋梁等の修繕や街路灯を設置・修繕		○		土木管理課	地元要望に基づき、道路舗装・側溝・安全施設の補修や街路灯の新設・修繕等を行った。施設の劣化が広範囲に及ぶ路線については、改修計画を立て計画的に取り組んでおり、市道犬山公園小牧線、市道赤坂堂前線など6路線の舗装改修工事、市道橋爪4号線など3路線の側溝改修工事を行った。幹線道路の計画的な舗装改修において、特に市道犬山公園小牧線については、他の路線と比較し著しく舗装の劣化が早く、損傷が激しいことから、当初令和12年度までであった改修計画を令和9年度までに短縮できるよう、予算を重点配分し早期完成を目指す。
	移動支援方法の検討(地域住民の「足」の確保の検討)		○		防災交通課 高齢者支援課	今井・前原台団地・池野地区の一部の区域においてデマンド交通実証実験を実施した。令和5年度は、コミュニティバスやタクシー補助について、総合的に検討を行っていく。
	宅地開発による道路整備の一部を補助			○	都市計画課	令和元年度から制度運用を開始し、令和2年度に制度活用による民間宅地開発の実績が1件あった。令和6年度まで現行制度を運用することとしており、引き続き適切に制度運用を促し住環境の改善に努める。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

基本目標 気持ちいい住環境 “暮らしたいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 実施状況			④ 担当課	⑤令和4年度以降新たに取り組んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
空き家の活用をすすめます	空き家情報提供(空き家バンク)による情報発信			○	都市計画課	空き家所有者に対して継続して空き家バンクによる活用促進を行ったところ、活用された物件も増加した。協定により連携を図っている宅建協会と協力して、空き家所有者などに対して空き家バンクの啓発を継続して行う。
	借主改修型(DIY型)空き家事業の活用・啓発	○			都市計画課	体験できるような物件を探して、体験居住やDIYなどの検討を行ったが、コロナ禍のこともあり体験型イベントは実施しなかった。継続して栗栖・今井などで活用できる空き家所有者と相談しながら、DIY体験について協議を行う。
	空き家に関する相談窓口のワンストップ化			○	都市計画課	初期指導については、都市計画課が中心となって円滑に行えた。初期指導した物件を継続的に確認するなど、所有者への啓発を定期的に進める。
帰ろう ふるさと犬山へ 暮らそう 働く犬山で	ふるさと定住促進サポート事業			○	都市計画課	予算が埋まる程度の申込をいただいております。制度の周知が進んできている。継続して広報やHP、関連する団体などとの相互協力などを継続していく。
	働きて定住促進サポート事業			○	都市計画課	予算が埋まる程度の申込をいただいております。制度の周知が進んできている。継続して広報やHP、関連する団体などとの相互協力などを継続していく。
「里山に住む」仕組みづくりに挑戦します	優良田園住宅制度の活用			○	都市計画課	申請を受けて計画認定をした。認定に基づき、許可申請予定。
	水辺を活かしたまちづくりプロジェクト		○		企画広報課 観光課	ミラマチ栗栖が実施している木曽川沿いの竹林整備や地区の魅力を伝えるイベント(収穫体験祭等)の側面的支援を行った。 木曽川河畔(内田地区)の活性化を図るため、実証事業、関係者による意見交換、などを実施し、具体的な活用プランを数点作成した後に、基本構想を策定。整備に向けた関係機関との打ち合わせを継続する。 鵜飼観覧・遊覧を充実させるため、本市が所有する屋形船(若あゆ丸)を改修。高付加価値/高単価商品造成を目指す。 遊覧船事業は引き続き木曽川観光(株)と連携し、年間を通じた運航と企画船造成を進め、具体的な旅行商品造成、ふるさと納税返礼品の造成を図る。
環境先進都市いぬやまを目指します	環境基本計画の改訂と推進		○		環境課	計画進行管理を継続実施。年次計画の推進により得られた結果を、新たに「犬山市環境白書」として作成し、公表。計画にある市民主体で展開する重点プログラムの着手を目指し、いぬやま環境サポーターを募集したが、応募なし。計画進行管理や「犬山市環境白書」の作成及び公表を継続して実施するほか、計画にある市民主体で展開する重点プログラムの着手を目指す。
	省エネ支援の強化			○	環境課	個人・家庭での省エネ推進のため、既存住宅省エネ改修(断熱リフォーム・高効率給湯機設置)、次世代自動車(電気・燃料電池自動車)購入への補助制度を新たに実施。
	広域ごみ処理施設の整備		○		環境課	令和10年度供用開始を目指し、尾張北部環境組合と連携して事業を推進。
誰もがいきいきと暮らせるまちをつくります	子育ての女性の活躍応援事業の実施(再掲)				子ども未来課ほか	(再掲のため略)
	介護予防事業の推進		○		高齢者支援課	市内4施設でスポーツボイス教室を開催した。また、参加者にDVDを貸出し、自宅での介護予防を推進した。令和5年度は、スポーツボイス教室をフレイル予防スクールに改め、フレイル予防の推進を進めるとともに、初回と最終回に体力チェック等を行い、その効果を検証する。
	地域生活支援拠点整備事業		○		福祉課	令和4年度は4事業所において、5つの機能を登録し充実を図った。引き続き機能の充実を図っていくとともに、実際の受け入れ等についても事業所と調整を進める。
	多文化共生の推進		○		地域協働課	スペイン語窓口通訳者の配置、Facebookページ英語版の開設、多文化交流フェスの開催(令和4年度)。外国人市民への実態調査及び調査結果を踏まえた多文化共生推進ビジョンの追記・改訂(令和5年度)。
	健康市民づくりの推進		○		健康推進課	地元企業開発の歩行診断測定器を活用した協働事業の実施や包括協定先企業との連携による健康づくり事業を行った。また、子宮頸がん検診未受診者対策事業として子宮頸がん自己採取HPV検査事業を実施した。令和5年度は、高齢者へのフレイル予防(アイフレイル・オーラルフレイル・ロコモ・認知症)として広くチェック票を配布しハイリスク者への個別支援と、受け皿となる事業を展開するとともに。市民アンケート調査を実施し、実態・ニーズ調査を行う。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

基本目標 気持ちいい住環境 “暮らしたいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 実施状況			④ 担当課	⑤令和4年度以降新たに取り組んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
地域の集いの場づくりを応援します	地域の集いの場づくりの支援		○		高齢者支援課	新型コロナウイルスの影響により開催できなかった、第1層協議体の研究会及び第2層協議体の交流会を開催し、地域間での情報交換を行った。令和5年度は、交流会を継続するとともに、戦略的に地域づくり連絡会を開催し、各地区の生活支援コーディネーターの連携を図る。
安全・安心に暮らせるまちをつくります	通学路安全(路側帯のカラー舗装など)対策整備		○		土木管理課 学校教育課	「犬山市通学路交通安全プログラム」に基づき、プログラムに位置付けられたグリーンベルトやカラー舗装などを計画的に整備を行っている。また、令和3年度に行った緊急合同点検で判明した危険箇所について、「犬山市通学路交通安全プログラム」と重複している箇所は、計画年度の前倒しを行い令和4年度に実施。今後もプログラムに位置付けられたグリーンベルトやカラー舗装などを計画的に整備を行う。また、整備に当たっては、従来からの舗装整備に加えて、狭窄横断歩道など新たな手法を取り入れる。
	家庭や地域での防犯・防災対策支援			○	防災交通課	防犯・防災に対する補助事業を複数展開することで支援を行っている。
	災害対策、非常時の体制整備			○	防災交通課	地域防災計画に組織体制や分掌事務を定め、迅速な災害対応の体制を整えている。機構改革などの部署の変更があった際には、適宜体制の見直しを行っている。
市民サービスをもっと簡単に分かりやすく	ICTの活用(手続きのオンライン化、キャッシュレス化)		○		情報政策課 収納課ほか	・オンライン申請(あいち電子申請届け出システム)手続きの拡充 ・QRコード決済「PayPay」対象手続きの拡充
	手続きの簡素化		○		全課	添付書類の省略や申込方法にオンライン手続きを導入するなど、手続きの簡素化に取り組んだ。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

基本目標 居場所と出番 “活躍したいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 実施状況			④ 担当課	⑤令和4年度以降新たに取り組んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
犬山らしい教育を進めます	読解力向上推進		○		学校教育課	犬山読解力シンポジウムを開催し、子ども未来園、小中学校での取組みを発表して、成果・課題を市内教員や市民と共有した。「犬山読解力テスト」試行版の内容を修正し、新たにアンケートを追加して実施した。犬山読解力を育む授業について市内各校で研究を進め、実践の質的・量的向上を図る。
	図書館改革		○		学校教育課(文化スポーツ課)	図書館コーディネーターや学校司書を中心に、本好きな子どもを増やすための教育活動を展開した。犬山読解力シンポジウムの中で読書推進の取組みを発表し、推進拠点校の取組みを市内全校に広げた。推進拠点校を別の学校に移し、これまで推進拠点校で培ってきたノウハウをさらに他校へ広げていく。
	学校施設の計画的な改修		○		学校教育課	栗栖小学校非構造部材改修工事及び東部中学校非構造部材改修工事を実施した。犬山南小学校改築工事を進めている。令和5年度以降、東小学校非構造部材改修工事、犬山西小学校非構造部材改修工事、羽黒小学校非構造部材改修工事を実施していく予定。
がんばる企業と新たな起業を応援します	後継者バンク創設			○	産業課	事業承継・引継ぎ支援センターとの連携体制を築くことで後継者人材バンクが活用できる体制となった。加えて、中小企業自らが、事業継続、新商品の開発、業態変換等に取り組む際、市が委託する中小企業診断士による支援を受け事業計画を策定。その後、具体的な取組みを展開していく場合、中小企業者が策定した事業計画の実現に必要なコンサルタント等のアドバイザーの支援を受けていくための費用や設備投資費用の一部を助成し、相談から、計画実現の支援までを市の制度としてワンストップで行った。
	企業のマーケティング戦略の支援強化			○	産業課	中小企業自らが、事業継続、新商品の開発、業態変換等に取り組む際、市が委託する中小企業診断士による支援を受け事業計画を策定。その後、具体的な取組みを展開していく場合、中小企業者が策定した事業計画の実現に必要なコンサルタント等のアドバイザーの支援を受けていくための費用や設備投資費用の一部を助成する。相談から、計画実現の支援までを市の制度としてワンストップで行う。
新たな地域ブランド開発を応援します	新たな特産品の開発支援			○	産業課	商工会議所や特産品協会への補助を行い、活動への支援を行った。
	特産品・工業製品を通じた市外への犬山PR作戦		○		産業課	犬山市特産品協会と連携し、市外で特産品のPRを行った。犬山城西町まちづくり協会や犬山まちづくり株式会社などと連携した地域の特色を活かしたイベント等は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により2回のみ開催となった。
	新たに開発・商品化した事業者に対する販売促進活動などへの助成(6次産業化支援事業など)			○	産業課	業者を対象とした農産物等付加価値向上補助金により、地場農産物加工機械等の導入支援を行った。
「しごとの場」を増やします	産業集積誘導エリアへの企業誘致		○		産業課	不動産事業者と意見交換を行い、情報の収集や提供を行い進出を促し、新たに2社の立地に至った。
	企業再投資促進		○		産業課	企業再投資促進補助金により市内企業へ補助を行い、設備投資を促進した。
農業でがんばる人を応援します	耕作放棄地対策		○		産業課	荒廃農地等利活用促進事業補助金の活用により0.8ヘクタールの農地が耕作再開された。農業委員会、JA、農業者等の関係者と連携しながら、10年後に目指すべき農地利用の目標地図を作成し、農地利用の最適化を進める中で耕作放棄地の発生抑制や、荒廃農地等利活用促進事業補助金による解消を進めていく。
	農業の担い手育成		○		産業課	犬山市新規就農経営発展支援事業及び新規就農経営開始補助金により1名、犬山市新規就農支援補助金により2名の新規就農者支援を実施した。農業を始めたい方などを対象にした「チャレンジ農業講座」を開催し、講座終了後には農業講座参加者、新規就農者、若手農家を集めた座談会(意見交換会)を行い、交流づくりに関する取組みをスタートした。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

基本目標 居場所と出番 “活躍したいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 実施状況			④ 担当課	⑤令和4年度以降新たに取り組んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
シェアリングエコノミーでスキルを活用	シェアエコの普及活動		○		企画広報課	駐車場シェアに関する説明会の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症により説明会の実施を見送った。(令和4年度の駐車場利用件数は、令和3年度より回復したものの、最盛期(令和元年度)の半分以上となっている。)
	シェアエコを活用した地域課題の解決		○		企画広報課	これまでの駐車場シェアに係る取り組みを継続するとともに、市の課題解決のために資する新たなシェアエコサービスの検討を行う。シェアエコの取り組みを進める民間団体(協働プラザ、にこっと等)等とも連携し、地域課題の解決を図っていく。
文化・スポーツで活躍で・交流するまちづくり	社会教育施設の修繕		○		文化スポーツ課	図書館外壁等改修工事を施工し、外壁補修及び屋根防水工事により施設の長寿命化を図った。また、地下駐車場進入路の信号機の修繕を行い、安全対策を施した。令和5年度は、キュービクル式高圧受電設備の更新工事及び老朽化した汚水排水管の改修工事等を実施し施設の長寿命化を図るとともに、児童室及び視聴覚ブースの改修工事を行い、利用者の利便性向上を図る。
犬山の活性化へ金融機関・商工会議所・大学等と連携	連携事業候補の洗い出し		○		全課	名古屋経済大学、犬山商工会議所とは2者による会議を定期的開催するとともに、継続して連携事業を実施している。令和4年度は、名古屋経済大学と新たに2事業を実施した。
	リーディングプロジェクト(先行事業)の抽出・検討・実施		○		企画広報課	名古屋銀行から寄贈型ローン商品を活用して、市内小学校への寄贈品贈呈の申し出があった。調整により贈呈式を令和5年7月に開催することとなった。
みんなで地域力UP！にチャレンジ	地域の課題解決支援事業			○	地域協働課	これまでの事業で地域の課題解決の取り組みとして事例をまとめることができたため、今後はこの経験を活かし、新たな形での地域活動の支援について検討していく。
市民が主役のまちづくりを進めます	協働プラザの整備・運営		○		地域協働課	運営3年目までの経験を踏まえた各事業を実施した。また、令和5年度以降の運営事業者を選定するためのプロポーザルを実施した。プロポーザルの提案に基づき、これまでの事業に加え、地域活動の担い手育成にも取り組んでいく。
	市民活動支援施策の推進		○		地域協働課	犬山市公益的活動の支援及び市民参加に関する条例として条例改正を行い、併せて啓発パンフレットを市民参加で作成した。条例の趣旨に基づき、市民活動助成事業等の見直しを行っていく。
	市民活動団体が自立するための団体経営に関する支援の強化		○		地域協働課	協働プラザにて、「社会活動の立ち上げと持続可能な運営を学ぶ講座」を計6回実施。
	協働のまちづくり基本条例の推進	○			地域協働課	施行から5年ごとに行う条例の見直しに向け、令和5年度から市民参加による検討の場を設けていく予定。
	市民活動支援条例の改正			○	地域協働課	犬山市公益的活動の支援及び市民参加に関する条例として条例改正を行い、併せて啓発パンフレットを市民参加で作成した。
	”活躍の場”づくり(フューチャーセッション)		○		地域協働課	全7回開催し、延べ122名参加。これまでは40代までを対象としていたが、令和5年度以降は、プロポーザルの提案に基づき、全世代を対象とした形で継続して実施する予定。
	地域資源バンクの活用		○		地域協働課	令和4年度、67件の人材及び団体の情報を収集し、活用案件として18件をコーディネートした。また、シェアリングエコノミーサービスのポータルサイト「いぬやまでばん」の運用を開始した。

総合戦略関連事業進捗状況一覧表

基本目標 居場所と出番 “訪れたいまち”がある

① チャレンジする 重点事業	② 新たにチャレンジする 主な取り組み	③ 実施状況			④ 担当課	⑤令和4年度以降新たに取り組んだ[取り組む]内容
		準備中	実施中	完了		
シティプロモーションを積極展開します	市ホームページリニューアルなどによる効果的な情報発信		○		企画広報課	広報専門員による動画広報「まるいちTV」の撮影と発信を開始。副業人材を活用し発信力のあるデザインの特典を作成、活用。広報紙について、R5年度の月1回発行に向けホームページへの誘導や二次元コードを活用した紙面作成を実施。
	シティプロモーション強化事業		○		企画広報課	市のPR動画の作成し、市の公式YouTubeチャンネルにアップするとともに、名古屋鉄道株式会社と連携して犬山駅改札口にて放映した。また、動画コンテストを実施し、市民のシビックプライドの醸成と、定住している市民視点の犬山の魅力動画の収集を行った。SNSなどを活用してこれらの動画を多くの方に見てもらい、訪れる場所から住む場所へと選択してもらえるよう犬山市を印象づける。
戦略ある“観光まちづくり”をすすめます	観光戦略の策定と推進		○		観光課	策定した犬山市観光戦略を基に、8つの重点プロジェクトをはじめとする施策を順次実施した。
	観光×○○事業		○		観光課	引き続き、シェアリングエコノミーの仕組み周知、体験型観光コンテンツの普及(造成・体験)・拡充に取り組んでいく。
木曽川河川空間を活性化します	木曽川河畔の整備(栗栖地区)		○		企画広報課 観光課	ミラマチ栗栖が主体となって実施している木曽川沿いの竹林整備に目途がつき、維持管理の段階へと移行した。木曽川上流河川事務所や地元団体と調整を図り、栗栖園地の拡張整備と利活用の手法(区域指定)の検討などを実施するためモルック体験などの実証事業を展開した。また、愛知県の補助金を活用して栗栖園地南側2,250㎡の芝張りを地元住民からの協力も得て実施した。今後も実証実験と芝張りを継続して実施していく。
	地域の魅力づくりと発信(栗栖地区)		○		企画広報課 観光課	名鉄とココモファームによる「桃太郎マルシェ」が11月に開催され、地元団体との結び付けや周知などの側面的支援を実施して、ミラマチ栗栖も出店した。今後もミラマチ栗栖が行う地域の魅力づくりと発信につながる活動の側面的支援を継続する。
	飲食・物販やイベントを通じたにぎわいと地域活力の創造(内田地区)		○		企画広報課 観光課	8月1日～8月10日の期間中に木曽川河畔でロングラン花火開催時に「宵のいぬやMARCHE」を実施した。今後も犬山朝市などの関係者と連携して展開していく。
文化財を保存し、魅力を創出・発信します	歴史資料等の収集・編纂		○		歴史まちづくり課	資料収集・調査を実施した。また、『犬山市史平成編』の資料編の刊行に向けて目次構成を検討した。引き続き資料収集・調査を行うとともに、『犬山市史平成編』の資料編の執筆を行う。
	文化財保存活用地域計画の策定		○		歴史まちづくり課	「犬山市文化財保存活用地域計画(案)」を作成し、パブリックコメントを実施した。関係省庁による内容確認を経て、文化庁による令和5年7月の認定を目指して申請を行う。認定後、計画書及び概要版の印刷を行う。
	(犬山城)城山などの史跡整備		○		歴史まちづくり課	「史跡犬山城跡整備基本計画」の策定に着手した。令和5年度に完了予定。黒門の復元に向けて、原位置を特定するための黒門発掘調査と、移築された門、櫓の実測調査を実施した。